News Release

２０２０年５月１３日

２０２０年３月期 決算のお知らせ

【単体】	経常利益	４９億４８百万円	（前期比△１０億９７百万円）
	当期純利益	３０億５０百万円	（前期比△１０億５２百万円）
【連結】	経常利益	５２億２５百万円	（前期比△１０億８８百万円）
	親会社株主に帰属する当期純利益	３１億２８百万円	（前期比△１０億１４百万円）

株式会社秋田銀行（頭取 新谷 明弘）は、５月１３日（水）、２０２０年３月期（２０１９年度）の決算を発表いたしました。

１ 損益（単体）前期比

経常収益は、国債等債券売却益の増加により前期比 11 億 35 百万円増収の 413 億 41 百万円となりました。（増加率 2.8%）

本業での利益を示す**コア業務純益**は、役務取引等利益の増加と経費の減少により 9 億 20 百万円増益の 69 億 22 百万円となりました。（増加率 15.3%）

一方、**経常利益**は、期末にかけての市況悪化を要因とした国債等債券損益の悪化と、与信関係費用が増加したことにより、10 億 97 百万円減益の 49 億 48 百万円となりました。（増加率△18.1%）

当期純利益は 10 億 52 百万円減益の 30 億 50 百万円となりました。（増加率△25.6%）

２ 損益（連結）前期比

経常収益は、前期比 12 億 25 百万円増収の 463 億 88 百万円となりました。（増加率 2.7%）

経常利益は、10 億 88 百万円減益の 52 億 25 百万円となりました。（増加率△17.2%）

親会社株主に帰属する当期純利益は 10 億 14 百万円減益の 31 億 28 百万円となりました。（増加率△24.4%）連結損益の増減は、主に銀行単体の増減要因によるものです。

３ 損益 業績予想比（2019.11.11 公表済みの業績予想）

業績予想に比べて、有価証券利息収入が上回ったことや経費の削減により、本業であるコア業務純益は大きく上回りました。これによって、市況の悪化や、予防的に貸倒引当金を積み増しした影響はあったものの、経常利益、当期純利益においても業績予想を上回ることができました。

		業績予想	実 績	差 異
単体	コア業務純益	43 億円	69 億 22 百万円	＋26 億 22 百万円
	経常利益	48 億円	49 億 48 百万円	＋1 億 48 百万円
	当期純利益	30 億円	30 億 50 百万円	＋50 百万円
連結	経常利益	50 億円	52 億 25 百万円	＋2 億 25 百万円
	親会社株主に帰属する当期純利益	30 億円	31 億 28 百万円	＋1 億 28 百万円

秋田銀行
地域とともに歩み、地域の発展とともに栄える